# 大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2025年第42週(10月13日~10月19日)

### 今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

#### 定点把握感染症

#### 「インフルエンザ さらに増加し

第42週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,440例であり、前週比13.8%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、伝染性紅斑の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2,90、1,60、1,13、0,98、0,72である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比15%減の539例で、南河内4.63、中河内3.84、北河内3.74、大阪市南部3.41、大阪市西部3.20であった。

RSウイルス感染症は12%減の298例で、大阪市西部2.80、北河内2.74、大阪市北部2.46である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は9%減の211例で、中河内1.95、大阪市南部1.47、北河内1.43であった。

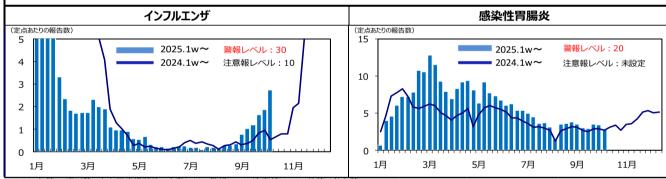
流行性角結膜炎は4%減の51例で、大阪市西部2.50、中河内・堺市1.40である。

伝染性紅斑は28%減の134例で、南河内1.69、中河内1.37、北河内・大阪市西部1.00であった。

インフルエンザは46%増の801例で、定点あたり報告数は2.74である。泉州4.73、北河内4.55、堺市3.48、大阪市西部2.93、大阪市北部2.50である。8ブロックで前週より増加し、全てのブロックで定点あたり報告数1を超えた。

新型コロナウイルス感染症は35%減の487例で定点あたり報告数は1.67である。南河内2.08、北河内2.03、大阪市南部2.00、大阪市東部・泉州1.85であった。

急性呼吸器感染症(ARI)は15%減の9,872例で定点あたり報告数は33.81である。南河内46.00、北河内39.63、中河内39.52、堺市39.04、泉州35.18であった。



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

### 表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2025年第42週10月13日~10月19日)

第42週 の順位	第41週 の順位	感染症	2025年 第42週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2024年 第42週の 定点あたり 報告数	2025年第42週の 年齢別 患者発生数 最大割合値		
1	1	感染性胃腸炎	2.90	15%減	2.73	1歳_17%		
2	2	RSウイルス感染症	1.60	12%減	0.53	1歳_36%		
3	3	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.13	9%減	1.38	5歳_19%		
4	4	流行性角結膜炎	0.98	4%減	0.38	20歳以上_57%		
5	5	伝染性紅斑	0.72	28%減	0.09	5歳_23%		
参考		インフルエンザ (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	2.74	46%増	0.55	10-14歳_26%		
参考		新型コロナウイルス感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	1.67	35%減	1.01	10-19歳_18%		
参考		急性呼吸器感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	33.81	15%減	-	1-4歳_39%		

2025年第15週から急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)サーベイランスが開始となりました。

2025/26年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

各疾患の詳細は、大阪府感染症情報センターホームページ(定点把握疾患、疾患別情報、病原体検出情報)をご覧ください。

### 第42週のコメント

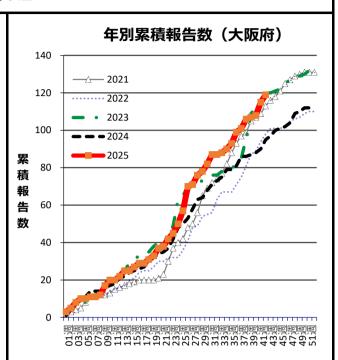
~レジオネラ症~ 2024年は、速報値で大阪府では112例、全国では2,419例の報告がありました。

### 全数把握感染症

#### レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラ(Legionella pneumophila)を代表とするレジオネラ属菌による細菌感染症である。レジオネラ属菌は、土壌や水環境に、普遍的に存在する菌であり、人工環境(噴水等の水景施設、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等)や循環水を利用した風呂から発生したレジオネラ属菌を含むエアロゾルを吸入することで感染する。病型として肺炎型と、一過性で自然に改善するポンティアック熱型がある。ヒトーヒト感染はない。細胞性免疫機能が低下したヒトでは肺炎を起こす危険性が通常より高いので、特に留意する必要がある。高齢者、新生児、大酒家、重喫煙者、透析患者、悪性疾患・糖尿病・AIDS患者などはハイリスク・グループである。

レジオネラ症(大阪府感染症情報センター) レジオネラ症(国立健康危機管理研究機構)



## 表 2. 大阪府全数報告数 (2025年 第42週10月13日~10月19日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ( ) 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数府内累積
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5	1	1					1	2	193
4類感染症	日本紅斑熱	2							1	1	12
4 换总未址	レジオネラ症(肺炎型)	4			2	1				1	119
	ウイルス性肝炎	1		1							12
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3				1	2				84
C 粉成 流流	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2							2		38
5 類感染症	水痘(入院例)	1	1								46
	梅毒	13				2			1	10	1,389
	百日咳	17	2	1	2		2		5	5	3,008
結核	結核 新登録患者数:73名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 21名)										
(2025年8月分) <b>(府内累積報告数 766名、内 肺·喀痰塗抹陽性 255名)</b>											

(2025年10月21日 集計分)